

平成26年度予算見積調書

課室名：交通政策課

担当名：鉄道担当

内線：2236

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B26	緊急輸送道路交差等鉄道高架耐震補強促進事業費			一般会計	総務費	企画費	企画調整費	県内既設鉄道整備促進費	
事業期間	平成25年度～平成27年度	根拠法令	なし				戦略項目	05	大規模災害への備え
							分野施策	010502	震災に強いまちづくり
<p>1 事業の概要</p> <p>首都直下地震などの大震災発災時に、緊急輸送道路が鉄道高架橋の倒壊により遮断されることを防止するため、当該道路と交差・近接する鉄道高架橋の耐震補強工事に対し、国と協調して補助する。 (国の補助制度は平成24年度創設)</p> <p>(1) 緊急輸送道路交差等鉄道高架耐震補強促進事業費 20,000千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>緊急輸送道路交差等鉄道高架耐震補強促進事業費 20,000千円 緊急輸送道路と交差・近接する鉄道高架橋の耐震補強工事(鋼板巻付け等)について、国庫補助制度と協調し補助する。 ア 東武伊勢崎線・県道さいたま草加線交差部分 20,000千円 (第1次緊急輸送道路)</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 西武秩父線 一般国道140号交差部分(秩父市日野田町地内) 平成25年度 (第1次特定緊急輸送道路)</p> <p>イ 東武伊勢崎線 県道さいたま草加線交差部(草加市草加地内) 平成25～26年度 (第1次緊急輸送道路)</p> <p>ウ 東武伊勢崎線 一般国道298号交差部分(草加市旭町地内) 平成27年度 (第1次特定緊急輸送道路)</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>大地震発生時における緊急輸送道路の遮断を防止し、応急復旧活動を円滑化する。</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>国1/3(県1/3)事業者1/3</p>									
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>なし</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×0.3人=2,850千円</p>									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との対比
決定額	20,000							20,000	7,333
前年額	12,667							12,667	